

平成23年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月8日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社IGポート

コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川光久

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員 (氏名) 中野広之

TEL 0422-53-0257

四半期報告書提出予定日 平成22年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年5月期第1四半期の連結業績(平成22年6月1日～平成22年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第1四半期	925	△50.3	△100	—	△93	—	△110	—
22年5月期第1四半期	1,860	△15.3	△96	—	△107	—	△94	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年5月期第1四半期	△2,304.66	—
22年5月期第1四半期	△1,971.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%		円 銭	%
23年5月期第1四半期	5,562	—	3,669	—	66.0	76,853.95	—
22年5月期	5,975	—	3,779	—	63.3	79,158.91	—

(参考) 自己資本 23年5月期第1四半期 3,669百万円 22年5月期 3,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年5月期	—	—	—	—	—
23年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年5月期の連結業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,618	△55.1	△123	—	△118	—	△141	—	△2,953.00
通期	5,127	△14.4	27	—	46	—	5	—	104.72

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 _____）、除外 一社（社名 _____）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|---------------------|----------|---------|----------|---------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 23年5月期1Q | 48,952株 | 22年5月期 | 48,952株 |
| ② 期末自己株式数 | 23年5月期1Q | 1,204株 | 22年5月期 | 1,204株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 23年5月期1Q | 47,748株 | 22年5月期1Q | 47,748株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、アジアを中心とした新興国の成長に支えられ、緩やかな回復基調にありました。一方で世界景気の減速懸念や、欧米の金利・為替政策による円高、株安によるデフレ懸念、政局不安、政策不信等により先行き不透明な状況となっております。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画、製造、販売を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は925,465千円(前年同期比50.3%減)、経常損失は93,982千円(前年同期は107,361千円の経常損失)、四半期純損失は110,042千円(前年同期は94,117千円の四半期純損失)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、劇場用アニメーション「ブレイク ブレイド」「ルー＝ガルー」、テレビ用アニメーション「戦国BASARA弐」等、ビデオ用アニメーション「よんでますよ、アザゼルさん。」等、その他ゲーム用・CM用のアニメーションを制作いたしました。

以上により、当事業の売上高は528,033千円(前年同期比64.0%減)、セグメント損失は117,804千円(前年同期は27,998千円の営業損失)となりました。

② 出版事業

出版事業におきましては、月刊誌「コミックブレイド」「コミックブレイドavarus」、コミックス「エスプリスト」等、定期月刊誌6点並びに新刊コミックス16点を刊行しました。

以上により、当事業の売上高は179,353千円(前年同期比26.1%減)、セグメント損失は66,565千円(前年同期は13,354千円の営業損失)となりました。

③ 著作権事業

著作権事業におきましては、「テイルズ オブ ヴェスペリア ～ The First Strike ～」「東のエデン」「To LOVEる」「機動戦艦ナデシコ」等の二次利用による収益分配を計上しました。

以上により、当事業の売上高は193,667千円(前年同期比51.2%増)、セグメント利益は104,284千円(前年同期の営業利益比465.0%増)となりました。

④ その他

その他の事業につきましては、雑誌のイラストやキャラクターの商品化等により、当事業の売上高は24,410千円(前年同期比1.6%増)、セグメント利益は244千円(前年同期の営業利益比95.5%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ413,437千円減少し5,562,003千円となりました。主な要因は建設仮勘定が94,275千円、建物及び構築物が37,456千円増加し、一方、現金及び預金が335,862千円、受取手形及び売掛金が185,776千円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ303,379千円減少して1,892,381千円となりました。主な要因は前受金が55,964千円増加し、一方、買掛金が157,925千円、短期借入金が150,000千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、四半期純損失の計上等により、前連結会計年度末に比べ110,057千円減少して3,669,622千円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末の連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ335,862千円減少し、1,313,429千円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、37,797千円となりました。(前年同期は36,890千円の減少)これは主に売上債権の減少が185,671千円、減価償却費が64,326千円、前受金の増加が55,964千円、一方、仕入債務金の減少が157,925千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、212,869千円となりました。(前年同期は46,397千円の減少)これは主に映像マスター他有形固定資産の取得が163,212円、投資有価証券の取得が49,996千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、160,772千円となりました。(前年同期は58,349千円の減少)これは主に短期借入金の純減少額が150,000千円、長期借入金の返済による支出が9,999千円等により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月期の業績予想につきましては、売上高5,127百万円、営業利益27百万円、経常利益46百万円、当期純利益5百万円を予想しております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しましては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを使用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを使用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業損失、経常損失は460千円及び税金等調整前四半期純損失は8,618千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は22,905千円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,326,553	1,662,416
受取手形及び売掛金	857,850	1,043,626
商品及び製品	91,141	81,248
仕掛品	715,047	714,989
貯蔵品	3,142	3,142
前渡金	33,180	22,680
繰延税金資産	6,751	11,785
その他	44,023	50,563
貸倒引当金	△5,486	△10,364
流動資産合計	3,072,205	3,580,087
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	773,136	735,679
土地	838,506	838,506
映像マスター(純額)	89,371	118,786
建設仮勘定	129,880	35,605
その他(純額)	57,232	52,736
有形固定資産合計	1,888,127	1,781,314
無形固定資産		
のれん	191,876	198,550
その他	22,424	25,730
無形固定資産合計	214,300	224,281
投資その他の資産		
投資有価証券	126,728	126,743
その他	420,986	423,254
貸倒引当金	△160,345	△160,240
投資その他の資産合計	387,369	389,757
固定資産合計	2,489,798	2,395,353
資産合計	5,562,003	5,975,441

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	294,862	452,787
短期借入金	300,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
未払金	78,672	142,656
未払法人税等	669	11,788
前受金	517,969	462,004
賞与引当金	2,976	1,526
返品調整引当金	48,500	58,000
受注損失引当金	94,205	—
その他	131,870	198,686
流動負債合計	1,509,721	1,817,445
固定負債		
長期借入金	329,173	339,172
退職給付引当金	35,648	36,538
その他	17,838	2,605
固定負債合計	382,659	378,315
負債合計	1,892,381	2,195,761
純資産の部		
株主資本		
資本金	701,400	701,400
資本剰余金	1,842,569	1,842,569
利益剰余金	1,198,864	1,308,907
自己株式	△72,870	△72,870
株主資本合計	3,669,963	3,780,006
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△341	△326
評価・換算差額等合計	△341	△326
純資産合計	3,669,622	3,779,679
負債純資産合計	5,562,003	5,975,441

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
売上高	1,860,312	925,465
売上原価	1,775,671	861,286
売上総利益	84,641	64,179
返品調整引当金戻入額	7,000	9,500
差引売上総利益	91,641	73,679
販売費及び一般管理費	188,453	174,370
営業損失(△)	△96,812	△100,691
営業外収益		
受取利息	304	783
受取配当金	6	6
為替差益	176	—
受取賃貸料	24,025	7,784
その他	2,742	3,762
営業外収益合計	27,255	12,337
営業外費用		
支払利息	1,061	2,250
為替差損	—	417
投資事業組合運用損	36,739	—
賃貸収入原価	—	2,959
その他	2	1
営業外費用合計	37,804	5,628
経常損失(△)	△107,361	△93,982
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	4,613
特別利益合計	—	4,613
特別損失		
固定資産除却損	30	—
事務所移転費用引当金繰入額	—	6,765
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	8,158
特別損失合計	30	14,923
税金等調整前四半期純損失(△)	△107,391	△104,292
法人税、住民税及び事業税	2,686	716
法人税等調整額	△15,960	5,033
法人税等合計	△13,274	5,750
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△110,042
四半期純損失(△)	△94,117	△110,042

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△107,391	△104,292
減価償却費	98,319	64,326
長期前払費用償却額	705	422
のれん償却額	6,674	6,674
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,754	△4,773
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△7,000	△9,500
受注損失引当金の増減額(△は減少)	3,716	42,981
賞与引当金の増減額(△は減少)	30,829	1,449
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,817	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,091	△890
受取利息及び受取配当金	△310	△789
為替差損益(△は益)	2	17
支払利息	1,061	2,250
固定資産除却損	30	—
投資事業組合運用損益(△は益)	36,739	△702
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	8,158
売上債権の増減額(△は増加)	185,575	185,671
たな卸資産の増減額(△は増加)	134,074	△9,951
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,885	△157,925
未払金の増減額(△は減少)	△255,416	△5,270
前受金の増減額(△は減少)	△201,804	55,964
前渡金の増減額(△は増加)	147,920	△10,500
未収消費税等の増減額(△は増加)	58,654	8,994
未払消費税等の増減額(△は減少)	△8,640	△19,756
その他	△141,602	△2,228
小計	△22,719	50,329
利息及び配当金の受取額	18	789
利息の支払額	△707	△1,644
法人税等の支払額	△13,481	△11,677
営業活動によるキャッシュ・フロー	△36,890	37,797
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△44,253	△163,212
無形固定資産の取得による支出	△1,043	△1,151
投資有価証券の取得による支出	—	△49,996
保険積立金の積立による支出	△1,099	△2,235
その他	—	3,726
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,397	△212,869
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,000	△150,000
長期借入金の返済による支出	—	△9,999
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△332	△730
自己株式の取得による支出	△72	—
配当金の支払額	△7,944	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△58,349	△160,772
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△17
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△141,640	△335,862
現金及び現金同等物の期首残高	1,582,510	1,649,291
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,440,870	1,313,429

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年6月1日至平成21年8月31日)

	映像制作 事業 (千円)	出版事業 (千円)	著作権事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上 高	1,465,387	242,830	128,068	24,025	1,860,312	—	1,860,312
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,465,387	242,830	128,068	24,025	1,860,312	—	1,860,312
営業利益又は営業損失(△)	△27,998	△13,354	18,458	5,402	△17,491	△79,321	△96,812

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品

- (1) 映像制作事業……劇場アニメ、TV・ビデオアニメ、ゲームムービーその他。
- (2) 出版事業……コミック誌、コミックス等。
- (3) 著作権事業……印税、分配、窓口手数料等。
- (4) その他事業……ゲームソフト、音楽・映像ソフト、イラスト、キャラクターの商品販売等。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結会計期間(自平成21年6月1日至平成21年8月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年6月1日至平成21年8月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、映像制作事業、出版事業、著作権事業の各事業単位で包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

当社は事業別セグメントから構成されており、「映像制作事業」「出版事業」及び「著作権事業」の3つを報告セグメントとしております。

「映像制作事業」は、劇場アニメ、TV・ビデオアニメ、ゲームムービー等の企画・制作を行っています。

「出版事業」はコミック誌、コミックス等の企画・製造・販売を行っています。「著作権事業」は、出資による印税、分配、窓口手数料等を得ております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	528,033	179,353	193,667	901,055	24,410	925,465
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	528,033	179,353	193,667	901,055	24,410	925,465
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	△117,804	△66,565	104,284	△80,086	244	△79,841

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△80,086
「その他」の区分の利益	244
のれんの消去額	△6,674
全社費用(注)	△14,174
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△100,691

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売管理費及び一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。